

経営比較分析表（令和2年度決算）

滋賀県 大津市

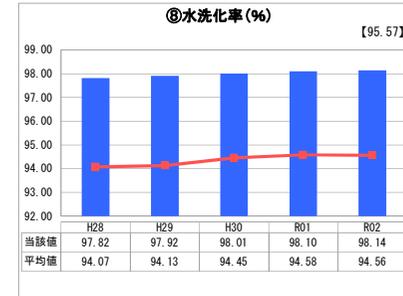
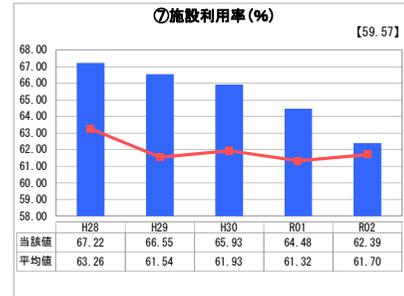
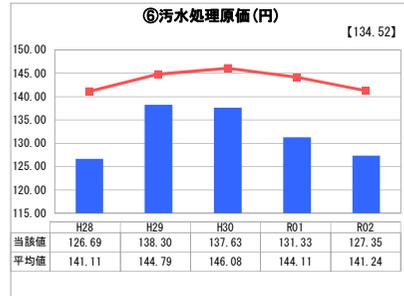
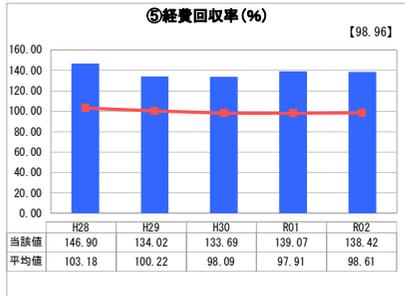
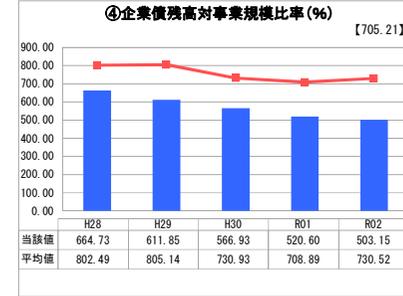
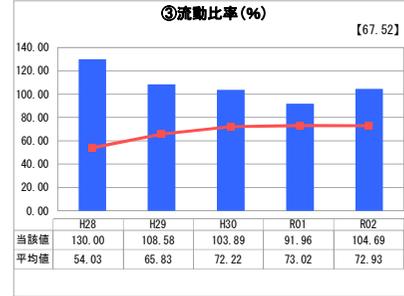
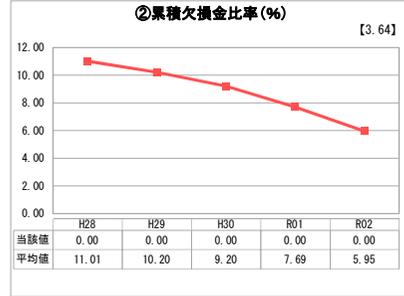
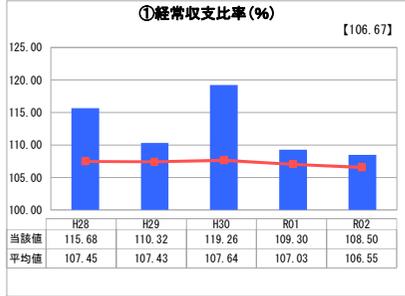
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Ac1	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	71.50	97.07	79.74	2,931

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
344,218	464.51	741.03
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
333,478	54.19	6,153.87

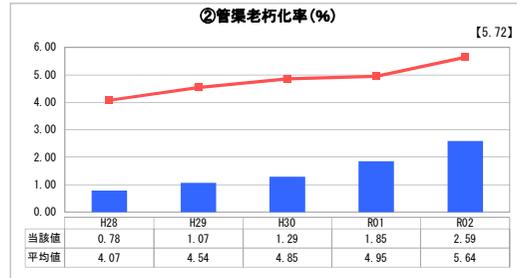
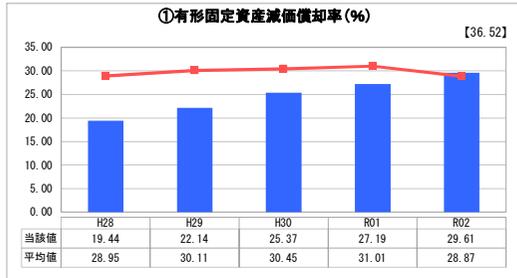
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率、③流動比率及び⑤経費回収率は、100%以上が良い状態である指標です。それぞれ100%以上を維持できており、全国平均及び類似団体平均を上回っていることから良好な状態といえます。ただし、ここ数年の傾向をみると、一般会計からの繰入金の影響により、大きく増減することから注意が必要です。

④企業債残高対事業規模比率は、企業債残高の規模を表す指標で、低い方が良好な状態です。企業債の発行抑制により減少が続いており、全国平均及び類似団体平均を下回っています。

⑥汚水処理原価は、有収水量1m³あたりの費用を表す指標で、低い方が良好な状態です。低下傾向であり、全国平均及び類似団体平均を下回っています。

⑦施設利用率は、高い方が施設の利用状況や規模が良い状態である指標です。低下傾向ではあるものの、全国平均及び類似団体平均を上回っています。

⑧水洗化率は、処理区域内人口のうち汚水処理をしている人口の割合を表す指標です。着実に増加傾向であり、全国平均及び類似団体平均を上回っています。

2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、償却資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、②管渠老朽化率は、法定耐用年数を超えた管渠延長の割合を表す指標です。それぞれが、資産と管渠の老朽化割合を示しています。①有形固定資産減価償却率は全国平均を、②管渠老朽化率は全国平均及び類似団体平均をそれぞれ下回っていますが、ともに増加傾向であり、経年化が進行していることが分かります。

③管渠改善率は、管渠延長のうち当該年度に更新した管渠延長の割合を表す指標で、全国平均及び類似団体平均を下回っています。

全体総括

経営の健全性・効率性については、全国平均及び類似団体平均との比較において、概ね良好な状態といえます。

老朽化の状況のうち、特に管渠については、管内調査等の結果を踏まえ、計画的かつ効率的な維持修繕・改善更新を行っていく必要があります。

このような中、令和2年度に、中長期的な経営の基本計画である「大津市下水道事業中長期経営計画（経営戦略）」（平成29年度策定）を改定しました。今後は同計画に基づき、お客様に安全で安定した下水道サービスを提供できるよう、持続可能な経営を実施していきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。